

コーヒーの一時的な供給不足に関する方針

認証コーヒーの供給問題について

適用期間:2022年7月1日～2023年7月1日

目的

コーヒー業界は、過去12か月にわたり多大な困難に直面し、サプライチェーンの流通が途絶えるといった事態に見舞われてきました。多くの企業パートナーが、レインフォレスト・アライアンスまたはUTZの認証マークを表示した製品のために十分な数量の認証コーヒーを調達できずにいる可能性があることを、私たちは認識しています。本方針はこの懸念に対応すべく、レインフォレスト・アライアンス2020年版ラベル表示と商標に関する方針の第10.3項目「一時的な供給不足」を補足するものとして策定されています。

適用対象

本方針は、レインフォレスト・アライアンスまたはUTZの認証マークを表示した消費者向けコーヒー製品の製造・梱包・焙煎を行っていて、かつ供給不足の結果として、これらのラベルを表示した製品のいずれかまたは複数が次の条件のどちらかに当てはまることになった事業者に適用されます。

- A. 認証原料の含有率が70～90%になった。
- B. パッケージに記載された認証原料の含有率を下回るようになった。

要件

この場合に適用される要件は3つあります。

1. レインフォレスト・アライアンスまたはUTZの認証マークの使用の承認を受けている、もしくは承認を申請している会社が、目下のコーヒー供給問題によって製品の原材料が不足している旨をレインフォレスト・アライアンスに書面で通知します。この通知に際しては、[こちら](#)から入手できるフォームを使用し、かつ必要なすべての情報と書類を提出します。
2. レインフォレスト・アライアンスまたはUTZの認証マークを表示した製品を販売している会社が、供給不足の継続する間、下記の告知文を自社のウェブサイトに掲載します。この告知文は、製品またはブランドのページに掲載するか、レインフォレスト・アライアンスまたはUTZの認証農場からの調達について説明している持続可能性関連のページに掲載することができます。告知文とその掲載場所のURLは、通常の商標の承認プロセスに則って、マーケットプレイス2.0にアップロードすべきです。
3. 2022年7月1日から2024年12月31日までの間、ブランドオーナーである製造事業者は、不足分に等しい量のレインフォレスト・アライアンス認証コーヒーを追加で購入し、認証マークを表示していない他の製品で使用します。この追加購入分は、可能であれば、同じ国や地域から購入することで、需要減による困難がレインフォレスト・アライアンス認証農場に及ばないようにします。ただし、この要件は、すでにすべての製品にわたってレインフォレスト・アライアンス認証コーヒーを100%使用し、その旨をラベル表示している事業者には適用されません。

**RAINFOREST
ALLIANCE**



書類と報告

料金計算の時点でレインフォレスト・アライアンスのcustomersuccess@ra.org宛てに報告書を送付して、供給不足の間に非認証原料で代替した数量と、それを埋め合わせるために追加購入した数量のトレーサビリティまたは取引記録を提出する必要があります。

告知文の文例

「サプライチェーン問題により、現在、レインフォレスト・アライアンスおよび UTZ の認証マークを表示した弊社の《ブランド名または製品名》に対して十分な認証コーヒーを調達することができない状況が生じております。このため、これらの製品には、現在、レインフォレスト・アライアンス認証コーヒー原料が《70%のみ》含まれています。ご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございません。供給不足が解消次第、レインフォレスト・アライアンス認証農場からの調達を再開できる見込みです。また、この供給不足の間に通常であれば調達したであろう数量と同量の認証コーヒーを今後追加購入することで、生産者をサポートし環境を保護するための役割を果たしていく所存です。詳しくは[こちら](#)をご覧ください。」